

明治二十二年

(二月〜七月、日記ナシ)

(八月)

(八月一日〜廿日、日記ナシ)

八月廿一日

從函嶺歸。

(八月廿二日〜廿五日、日記ナシ)

(八月) 廿六日

東京三百年祭祀、於上野執行アリ。市中、掲国旗紅灯。

(八月) 廿七日

詣三条邸。

(八月廿八日、日記ナシ)

(八月) 廿九日

詣北白川別邸。

(八月) 三十日

(コノ日、記事ナシ)

(八月) 三十一日 二百十日。陰、無風。

塾生、以此日、過半歸校ス。

(九月)

(九月一日、日記ナシ)

九月二日

行授業始。諸葛益子及北川貞子入門。齋藤氏。

(九月) 三日

野村綱子入門。

(九月) 四日

守屋福子入塾。

(九月五日〜八日、日記ナシ)

(九月) 九日 旧八月望月。

此夜、月正好乍、入雲無月。

(九月十日、日記ナシ)

(九月) 十一日

晴時々雨切、如夕立。最初東方の風、漸次南方ニ廻り、夜ニ入、風力最甚。園大梧桐其外樹木過半倒レ、夜二時頃雨止。然レ共風力未衰、近所ノ家屋、家根剥レ、家倒レ損所甚。

(九月十二日〜十八日、日記ナシ)

(九月) 十九日

新井久子入学ス。

(九月廿日、廿一日、日記ナシ)

(九月) 廿二日

亡父百ヶ日法会、於善仁寺執行。会者八十余名也。大谷茂子、依病被帰院。

(九月廿三日〜廿五日、日記ナシ)

(九月) 廿六日

大伴氏、石山氏、里開、設於常盤楼。余、[烈席](#)ス。

*[烈席](#) (列席)

(九月廿七日、日記ナシ)

(九月) 廿八日

万里小路桃子、作姉小路公義養妹。於姉伯邸、有其式。

(九月) 廿九日

姉小路公義妹桃子、作花蹊養女、小西夫婦及万里小路生母八重子同来。結親子契約、有其式、挙家歡喜ス。

(九月) 三十日

(コノ日、記事ナシ)

(十月)

十月一日 火曜

(コノ日、記事ナシ)

(十月) 二日 水曜

堀内花子入学。

(十月) 三日 木曜

(コノ日、記事ナシ)

(十月) 四日 金曜

江沢房子入塾。浅草会貴夫人会。

(十月) 五日 土曜 晴。

課業畢。午下、訪田村氏及長谷川氏。皆祝出産也。桃子罹病氣。以此日、生徒生花教授ヲ始ム。

(十月) 六日 日曜 雨。

大谷茂子、被帰塾。

(十月) 七日 月曜 晴。

朝、散歩。

(十月) 八日 火曜 晴。
朝、散歩。

(十月) 九日 水曜 雨。
朝、散歩。生花稽古日、水曜日卜定ム。

(十月) 十日 木曜 晴。
朝、散歩。

(十月) 十一日 金曜 晴。
此日、阿部綾子入門。浅草法善寺来。夜、月色正好、散歩園中。三条花堤君来。

(十月) 十二日 土曜 晴。
(コノ日、記事ナシ)

(十月) 十三日 日曜 晴。
午下、拉篤君、至日本橋辺。夜十二時前、地震。

(十月) 十四日 月曜 晴。
詣墓所。晚過大伴氏。与昨夜同時刻、地震。

(十月) 十五日 火曜 雨。
亡父忌日、詣墓所。終夜雨切。

(十月) 十六日 水曜 晴。
(コノ日、記事ナシ)

(十月) 十七日 木曜 晴。
神嘗祭。朝、散歩近辺。久堅町之荒野処々魏然家屋有造築、其盛可驚。晡時、菊地氏、滝川氏来。

*魏然(巍然)

(十月) 十八日 金曜 晴。
滝川氏、以此日、英学教授依頼ス。蓋菊池氏之代理也。

(十月) 十九日 土曜 晴。

朝、新聞以号外、報大隈外務大臣之負傷来。昨午後四時頃内閣ヨリ帰途、**爆烈彈**ヲ馬車中ニ投シ、大臣右足ノ内踝と同膝部下ノ内側トニ二ヶ所之傷ヲ負レリ。此凶行者ハ**来島常喜**ト云。即時短刀ニテ喉部ヲ貫キ死スト云。

*爆烈彈(瀑裂彈) *来島常喜(来島恒喜)

(十月) 二十日 日曜 晴。

朝、姉伯来。角田氏之妻来。

(十月) 廿一日 月曜 雨、暴風。

青木氏、從郷里帰来。

(十月) 廿二日 火曜 晴。

(コノ日、記事ナシ)

(十月) 廿三日 水曜 晴。

同茗橋、泰、栄児、訪青木氏。

(十月) 廿四日 木曜 晴。

(コノ日、記事ナシ)

(十月) 廿五日 金曜 晴。

花堤君来。此夜、以号外、報来黒田總理大臣辞職、三条内府兼任總理大臣。

(十月) 廿六日 土曜 晴。

午下、詣三条邸、談話良久而帰。

(十月) 廿七日、廿八日、廿九日、三十日

執行書面試験、全畢。

(十月) 三十一日

大塚茂子入塾。

(十一月)

十一月一日

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 二日 土曜 晴。

課業畢。有約池田氏、携女徒八人、往新富座劇場。夜十時帰。月清光、有風、殊寒。

(十一月) 三日 日曜 陰、有風。

天長節ノ佳辰ニ際シ、以皇子嘉仁親王殿下、皇太子ノ位ニ立セ給フ。上ハ天皇陛下ヨリ下万民ニ至ル迄、帝徳天高地久ク日月と長ク宝祚ノ隆ル天壤無究、万歳ノ声連呼シテ止ンノミ。

*天壤無究(天壤無窮)

(十一月) 四日 月曜 雨。

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 五日 火曜

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 六日 水曜 晴。

課業畢。午下、携花英、往吉田氏帰。大塚菊子、同豊子、佐伯古舞女入塾。

(十一月) 七日 木曜 晴。

高橋五郎、松野和邦、大伴氏来。此朝、桃子左耳下外科、内田氏行手術。夜月尤明。

(十一月) 八日 金曜 晴。

花堤君来。晚、散歩本郷辺。買得南天竺及菊花、帰。

(十一月) 九日 土曜 雨、又風。

大伴氏来。

(十一月) 十日 日曜 陰。

朝十時、携生徒共五人、往角田氏駒込別荘。蓋応招也。挙家引余等客席、待遇之厚可喜。園中霜葉及菊花満園如錦。余興、浄瑠璃及落語、畢呼写真師、園遊囃取撮。生徒唱歌モ有。一同遊楽、散歩帰。此日、末永茂子入塾ス。

(十一月) 十一日 月曜 陰。

齋藤仁子、池田録子、其母美津、石山綾子来。午下、往植物園。園中、霜葉、トウタン、青松樹間呈宮錦。満園如錦繡、恋々不止。又菊花、薔薇花開、偏偷半日間、得逍遙之樂。已而帰。此日始霰降。

*池田録子(池田祿子) *トウタン(満天星)

(十一月) 十二日 火曜 晴。

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 十三日 水曜 晴。

從植柘氏、干香魚寄来。夜雨。

*植柘氏(柘植氏)

(十一月) 十四日 木曜 晴。

朝、霜深。

(十一月) 十五日 金曜 晴。

朝、墓参ス。角田妻来。

(十一月) 十六日 土曜 晴。

西村信子来。山形治郎兵衛死去ス。

(十一月) 十七日 日曜 晴。

期朝十時、此日大学植物苑拜借、生徒一同成園遊会。窈窕淑女園中遊歩之美、庭園霜葉之美、争妍美如神仙宮女。饗昼餐食堂之美、亦不可言。会此者百廿人。不期会者、土方宮内大臣、故文部大臣室井沢氏之妻也。斜陽一沫亦添紅、山林之景如日本画図中。四時尽歡帰校。山登松齡訃音来。

(十一月) 十八日 月曜 晴。

(コノ日、記事ナシ)

(十一月) 十九日 火曜 雨。

千家国子入塾ス。小西哥子来。夜雨。姉伯来。

(十一月) 廿日 水曜 晴。

天晴朗、春如三月。万里八重子、茂木栄子来。夜雨。夜十二時、小石川竹早町師範学校附属小学校出火。

(十一月) 廿一日 木曜 晴。
課業畢。同家姉、詣本法寺貴婦人会。晡時帰。

(十一月) 廿二日 金曜 晴。
課業畢。三条花堤、山内旭花来。晚、報恩講執行。大伴氏及輝子来。

(十一月) 廿三日 土曜 神嘗祭。晴。
朝八時出門、往二丁目觀劇。蓋三条夫人応約也。午下雨。五時全畢、帰宅。此日、唯專寺
智明院訃音至。廿日死去ス。

(十一月) 廿四日 日曜 晴。
朝、訪井田讓氏病。訪三条公邸、謁夫人、貴婦人会長之件依頼ス。午下、西村政子、渡辺
福三郎妻玉女来、入門ス。

(十一月) 廿五日 月曜 晴。
課業畢。蒲生髮亭、小栗栖香頂来。

(十一月) 廿六日 火曜 雨。
朝、散歩。

(十一月) 廿七日 水曜 晴。
茂木花祥、山内静子来。大谷派松尾亨寄書来。

(十一月) 廿八日 木曜 晴。
朝、散歩。京師松尾氏之寄書。

(十一月) 廿九日 金曜 晴。
午下、同家姉弟妹及泰兒、往改良演劇。戸田氏、中山理賢来。

(十一月) 三十日 土曜 晴。
朝、井田讓訃音来。昨午後四日逝去。此日、通常試験全畢。
*昨午後四日(昨午後四時)

(十二月)

十二月一日 日曜 晴。

朝、往井田氏、帰途、往竹林帰。此日、桃子床払、祝宴ヲナス。

(十二月) 二日 月曜 晴。

試験休暇日也。応原氏招、往歌舞伎座演劇。午下一時ヨリ、夜九時畢。

*歌舞伎座(歌舞伎座)

(十二月) 三日 火曜 雪、霰、及雨。

試験休暇日也。

(十二月) 四日 水曜 雨。

始授業。午下、会貴婦人会。三条資君被来会。

(十二月) 五日 木曜 晴。

課業如例。

(十二月) 六日 金曜 晴。

課業如例。三条花堤君被来。有約、往内田氏、饗晚餐。書齋開也。夜九時帰。

(十二月) 七日 土曜 晴。

課業畢。中村竹子入塾。

(十二月) 八日 日曜 晴。

朝、藤袴内侍御使鶴女来。看病婦関女帰院、大学病院。余往新富座劇場、夜九時帰。此日、堀田夫人伴子来。

(十二月) 九日 月曜 晴。

課業如例。家姉往歌舞伎座。晚、菊池熊太郎氏来。

*歌舞伎座(歌舞伎座)

(十二月) 十日 火曜 晴。

課業如例。花瑞来。

(十二月) 十一日 水曜 晴。

課業如例。

(十二月) 十二日 木曜 雨。

課業如例。大伴氏来。夜、暴風雨。

(十二月) 十三日 金曜 晴。

課業如例。此後繁忙、不能記、遂經過本年。

(十二月十四日～三十一日、日記ナシ)